

## 業績の推移

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受注高	1,967,639	1,125,869	814,507
税引前利益	231,697	218,310	49,321
当期利益	149,526	117,794	23,043

当期における建設需要は、震災復興及び台風等災害復旧事業以前と変わらない水準まで落ち込んだ国・県の公共事業費の予算幅となったところです。

当社の売上高においても、2年続けて減の814,507（千円）と前年同期から331,362（千円）減となりました。

公共事業に依存する当社としては、予算幅と同調するように売上減と下降線に推移しております。

併せて工事1件あたりの完成金額も低く減少となっています。

来期以降は、従前通り今期並み程度での予算規模縮小と想定されることや、若手入職者が皆無に近い状況と、従事労働者の高齢化は年々進む一方と直面する課題は厳しさを増すばかりです。

その中でも、今期以降は更にこれまで以上に経費削減に努め、当社の得意とする道路等基盤整備のみならず、民間需要にもある程度の営業注力で地元雇用と貢献度を新化させつつ役職員以下努力して参ります。